

全国アマモサミット2011



2011年11月20日

於 海遊館ホール

全国アマモサミット2011 実行委員会

全国アマモサミット2011は 平成23年度 大阪府環境保全活動補助金
一般財団法人みなと総合研究財団 平成23年度 未来のみなとづくり助成
(港湾・海辺／調査研究助成) を受けて実施しています

ご挨拶

アマモは砂地に生育する海草です。アマモは陸上の植物と同じように光合成をし、二酸化炭素を吸収し酸素を海に供給するとともに、砂地の窒素、りんなどの栄養分を吸収して、海の水質、底質をきれいにします。また、アマモが密生するアマモ場は魚たちの遊び場、保育場、産卵場で「海のゆりかご」と言われています。このように、アマモ場は魚たちの生息場所として大変重要な役割を果たしています。この大切なアマモ場を保全・再生したいと多くの人達が全国で活動されています。

そこで、アマモ場再生を目指して活動する人達が集い、地域、所属、立場を越えて、互いの知見や経験を交換し、アマモ場再生活動をさらに前進させる場として、2008年に“海辺の自然再生に向けた地域連携・世代連携を探る”をテーマに第1回全国アマモサミットが横浜で開催されました。第2回は“全国のアマモ再生活動の取り組みと、連携と協働で中海再生を探る”をテーマに米子で、第3回は”「海のゆりかご」の再生を目指して・・・漁師たちの挑戦“というテーマで指宿で開催されています。

今年は第4回目で大阪の海遊館ホールでの開催となりました。“アマモ場再生の輪を拓けよう！”をテーマに大阪湾でのアマモ場の保全・再生活動を中心に、全国の活動が報告されます。一人でも多くの人達に、大阪湾をはじめとする沿岸海域の生き物たちの生息環境であるアマモ場の現況と役割を、また、全国のアマモ場再生活動についても知って頂ければと思います。そして、このサミットを通して、今後のアマモ場再生活動の活性化と輪の拓がりを期待しています。

全国アマモサミット2011 実行委員会
委員長 出口 一郎

主催 全国アマモサミット2011 実行委員会

共催 特定非営利活動法人アマモ種子バンク 特定非営利活動法人環境教育技術振興会

後援 (順不同)

国土交通省 近畿地方整備局 大阪港湾・空港整備事務所

環境省 近畿地方環境事務所 大阪湾再生推進会議 洲本市

財団法人ひょうご環境創造協会 全国漁業協同組合連合会

由良・生石研究村運営協議会

協賛 (順不同)

特定非営利活動法人未来守りネットワーク

コーセー化粧品販売株式会社 神戸支店 東翔建設株式会社

協力 (順不同)

株式会社海遊館 大阪コミュニケーションアート専門学校 大阪湾見守りネット

国立公園成ヶ島を美しくする会 特定非営利活動法人釣り文化協会

ジー・オーシャン 神戸市立須磨海浜水族園 赤穂市漁業協同組合

江井ヶ島漁業協同組合 新庄漁業協同組合 りんくうタウン沿岸漁業振興連絡会

海のいのちクラブ 株式会社ラッシュジャパン イオンモールりんくう泉南店

「全国アマモサミット 2011」開催趣旨書

～アマモ場再生の輪を拡げよう！～

身近にあって、さまざまな生き物が棲み、魚介類が食卓を賑わし、潮干狩りや魚釣りを楽しめる海：豊かな海：は我々の生活も豊かにしてくれます。しかし、これまでの埋立地の造成や、企業、家庭からの排水（下水）による海底の砂泥質や水質の悪化などが、浅場、アマモ場、干潟や砂浜などを数多く消失させ、生き物の棲み処をなくし、魚介類を減少させ、また人々を海から遠ざけてしまいました。

アマモ場、浅場や干潟は沿岸域における魚介類、エビ、カニなどの小動物の産卵や生息の場、幼稚仔魚の生育の場として、さらに海の自浄機能の要の場として、豊かな海には欠かすことができません。この豊かな海を再生する方策の一つとして、「海のゆりかご」と称されている「アマモ場」を増やす活動を、全国各地で自治体、漁業協同組合、市民団体、NPO法人等が多様な形態、協働して行っています。近畿地方でも大阪湾、播磨灘、紀伊水道などにおいて、アマモ場再生・回復の取組み・活動が広がりつつあります。しかし、アマモやアマモの役割について見たことも、聞いたこともない人が多く、まして活動に参加する人は非常に少なく、一般市民の参加する（参加できる）活動として定着するには至っていないのが現状です。

アマモ場再生を目指して活動する人達が集う場として、「全国アマモ・サミット2011」を横浜、米子、指宿に引き続いて大阪で開催します。この開催の目的、趣旨は地域、所属、立場を越えた、アマモ場再生活動についての互いの知見・経験の交換です。さらに、一人でも多くの人達に大阪湾をはじめとする沿岸海域の生き物たちの生息環境であるアマモ場の現況と役割を知ってもらうよう魅力ある情報発信をして、アマモ場再生活動の周知を図ることで、これらを通して、今後のアマモ場再生活動の活性化と輪の拡がりを期待しています。

平成23年7月19日

「全国アマモサミット2011」実行委員会

委員長 出口一郎（アマモ種子バンク）

副委員長 関藤博史（環境教育技術振興会）

全国アマモサミット2011

(2011年11月20日 於 海遊館ホール)

開 会 (11:00~11:10)

- 開会挨拶 : 出口 一郎
全国アマモサミット2011 実行委員会 委員長
- 来賓挨拶 : 宮島 正悟
大阪湾再生推進会議 海域グループ長
(国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾空港企画官)

講 演 ・ 発 表

1. 一般講演 (1) (11:10~12:30)
 - ①由良湾アマモ場の生きものたち
花野 晃一 国立公園成ヶ島を美しくする会 会長
 - ②大阪湾のアマモ場を通じた活動報告
延岡 爽、帰山 拓己 大阪コミュニケーションアート専門学校
 - ③アマモ in 西鳥取
前田 ゆきみ 阪南市立西鳥取小学校 教諭
 - ④アマモマーメイドプロジェクト
福井県立小浜水産高等学校 ダイビングクラブ

2. ポスター発表
 - ①ポスター発表 (展示) (10:00~18:00)
各機関、団体
 - ②総括報告 (12:30~12:45)
鍋島 靖信
大阪府環境農林水産総合研究所 水産研究部 水産技術センター 主任研究員

3. 特別講演 (1) (13:45~14:15)
豊かな藻場を取り戻せ! ~全国に広がる磯焼け対策の紹介~
桑原 久実
独立行政法人水産総合研究センター 水産工学研究所 水産土木工学部
生物環境グループ長

4. 一般講演 (2) (14:15~15:15)
 - ⑤大阪湾を魚庭 (なにわ) の海に戻そう ~泉南の海でアマモを増やす~
赤井 重雄
りんくうタウン沿岸漁業振興連絡会 泉佐野漁業協同組合 参事
 - ⑥伊勢湾沿岸のアマモ場造成とその課題
国分 秀樹
三重県水産研究所 水圏環境研究課 地域COE
閉鎖性海域環境研究所 研究員
 - ⑦博多湾東部におけるアマモ場づくりの取り組み
甲斐 由将 福岡市港湾局 環境対策部 環境対策課

5. 特別講演(2) (15:25~15:55)

みんなで取り組む海域環境の保全・改善 -研究者、市民、NPOの役割-

古川 恵太

国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海洋部 沿岸海洋新技術研究官

6. パネルディスカッション (16:05~17:10)

コーディネーター

前川 行幸 三重大学 生物資源学研究科 教授

パネリスト(五十音順)

稲田 勉 東洋建設株式会社 土木事業本部 営業第一部 部長

岩井 克巳 特定非営利活動法人環境教育技術振興会 理事

工藤 孝浩 神奈川県水産技術センター 栽培技術部 主任研究員

田中 正視 大阪湾見守りネット 代表

西野 ひかる アマモサポーターズ 代表

閉 会 (17:10~17:15)

閉会挨拶 : 関藤 博史

全国アマモサミット2011 実行委員会 副委員長

交 流 会

会 場 メルボルンハウス (18:00~19:30)

天保山マーケットプレース 2階

特 別 企 画

①海遊館ガイド・ツアー (9:45~10:50)

バックヤードの見学

②アマモスケッチの展示と塗り絵コーナー

会 場 海遊館ホール前 (10:00~16:00)

連 携 企 画

淡路島由良アマモ見学ツアー

-みんなで成ヶ島のアマモを見に行きませんか-

日 時 2011年11月19日(土) 13時~20日(日) 10時

場 所 兵庫県洲本市由良(成ヶ島)

主 催 由良・生石研究村運営協議会

(事務局 : 洲本市由良支所)

講演概要・ポスター発表要旨

目次

I. 講演概要

1. 特別講演

- ①豊かな藻場（もば）を取り戻せ！ー全国に広がる磯焼け対策の紹介ー 8
桑原 久実（独立行政法人水産総合研究センター 水産工学研究所）
- ②みんなで取り組む海域環境の保全・改善ー研究者、市民、NPOの役割ー 12
古川 恵太（国土交通省 国土技術政策総合研究所）

2. 一般講演

- ①由良湾アマモ場の生きものたち 18
花野 晃一（国立公園成ヶ島を美しくする会）
- ②大阪湾のアマモ場を通じた活動報告 20
延岡 爽、帰山 拓己（大阪コミュニケーションアート専門学校）
- ③アマモ in 西鳥取 22
前田 ゆきみ（阪南市立西鳥取小学校）
- ④アマモマーメイドプロジェクト 24
福井県立小浜水産高等学校 ダイビングクラブ
- ⑤大阪湾を魚庭（なにわ）の海に戻そうー泉南の海でアマモを増やすー 26
赤井 重雄（りんくうタウン沿岸漁業振興連絡会 泉佐野漁業協同組合）
- ⑥伊勢湾沿岸のアマモ場造成とその課題 28
国分 秀樹（三重県 水産研究所）
- ⑦博多湾東部におけるアマモ場づくりの取り組み 30
甲斐 由将（福岡市港湾局 環境対策部）

II. ポスター発表要旨（順不同）

- 特定非営利活動法人 内之浦湾を良くする会（和歌山県） 34
- 特定非営利活動法人 海っ子倶楽部（兵庫県） 35
- 大阪湾見守りネット（大阪府） 36
- 富山県立 海洋高等学校海洋クラブ、滑川高等学校海洋クラブ（富山県） 37
- 鹿児島大学水産学部（鹿児島県） 38
- 長崎大学 附属環東シナ海環境資源研究センター
- 金沢八景ー東京湾アマモ場再生会議（神奈川県） 39

鴨川シーワールド 魚類展示課 (千葉県)	40
日本カブトガニを守る会 笠岡支部 (岡山県)	41
神島、寺間・見崎里浜づくり	
特定非営利活動法人 未来守りネットワーク (鳥取県)	42
愛知県 西尾市立 佐久島中学校 (愛知県)	43
島根大学 汽水域研究センター (島根県)	44
特定非営利活動法人 庄内浜を考える会 (山形県)	45
特定非営利活動法人 スクーバミュージアム (神奈川県)	46
三浦・湘南ECOダイバーズ、PADI JAPAN 金子	
全国アマモサミット2010 in 鹿児島 実行委員会 (鹿児島県)	47
防衛大学校 建設環境工学科 (神奈川県)	48
エスペックミック (株)、神奈川県 水産技術センター	
愛知県立 三谷水産高等学校 海洋資源科 (愛知県)	49
和歌山大学大学院 システム工学研究科 地域創造学クラスター (和歌山県)	50
和歌山大学 地域創造支援機構、和歌山県 水産試験場	